

修士論文・最終試験審査基準

【修士論文審査基準】

項目	審査の観点
1. 課題	学術的に意義を有すると認められる課題設定が的確である
2. 文献検討	先行研究の十分な参照・活用・引用がなされている
3. 意義・目的	研究意義・目的が明確である
4. 研究方法	データ収集方法・分析方法が妥当である
5. 分析	分析が妥当である
6. 解釈・考察	解釈・考察が妥当である
7. 論旨展開	論旨展開の明確性、一貫性、論理性がある
8. 独創性・社会への貢献	研究内容の独創性・結果の社会への貢献がある
9. プレゼンテーション	テーマに沿った内容で、わかりやすい・資料の構成が適切でわかりやすい 発表姿勢が適切である・時間配分が適切である
10. 倫理性	研究計画の実施における倫理性・科学的妥当性がある

【特定課題研究審査基準】

項目	審査の観点
1. 課題	看護の質向上に役立つ知識・技術の発展に貢献しうる研究課題が設定できる
2. 文献検討	文献検討・活用が適切である
3. 意義・目的	研究意義・目的が明確である
4. 研究方法	研究方法が妥当である
5. 分析	分析が妥当である
6. 解釈・考察	解釈・考察が妥当である
7. 論旨展開	論旨展開の一貫性・論理性がある
8. 独創性・社会への貢献	看護実践の質向上に資する研究内容である
9. プレゼンテーション	テーマに沿った内容で、わかりやすい・資料の構成が適切でわかりやすい 発表姿勢が適切である・時間配分が適切である
10. 倫理性	研究計画の実施における倫理性・科学的妥当性がある

【最終試験審査基準】

項目
1. 看護学と看護実践の発展に寄与する研究の基礎的能力
2. 看護学と看護実践の発展に寄与するための組織・制度変革を推進する能力
3. 専門分野における研究能力や理論に裏付けされた高度な看護実践能力
4. 優れた教養、高い専門的知識、職業的倫理の深い理解を得た看護のリーダー及び教育者としての能力
5. 課程における学びの態度